

防コミの歩き方

BOSAI
KOBE
MIRAI

津波避難! 2号線より山手に逃げろ! ～大地震に備え、魚崎町津波防災マップを見直し～

東日本が巨大地震に見舞われて2年が経過しようとしている。18年前に阪神・淡路大震災を経験した私たちは日ごろから備えておくことの大切さを身にしみて感じ、防災に取り組んできた。しかしこの度の地震に伴う大津波は東日本各地で壊滅的な被害を与え、想像を超える巨大地震の威力に驚くばかりであった。

私たちの住む魚崎地区は東灘区の西南に位置し、瀬戸内沿岸に接しているため東南海・南海地震が発生すると2.5mの津波が襲来すると予想されてきた。こうしたことから、私たちの防コミでは7年前に「東南海・南海地震津波防災マップ」を作成し、浸水予想地域の住民に配布をおこなった。

しかし東日本大震災の発生を受けて兵庫県より「津波被害警戒区域図(暫定)」が平成23年10月に発表され、魚崎町防コミでは「東南海・南海地震津波防災マップ」の見直し検討を昨年初めから実施してきた。

見直しに当たっては、防コミ役員9人による検討委員会を立ち上げるとともに、神戸市危機管理室、東灘区役所、東灘消防署、東灘警察署等、行政の協力や助言を受けながら検討を進めてきた。

マップ作成の前提条件や避難条件等は、主として次のとおり設定して検討した。

地震—東南海・南海地震M9.0、震度6弱

津波—高さ4.2m、湖上高14.4m

津波到達時間—100分～130分



避難場所—国道2号線より山手

避難完了—地震発生後90分以内

主要避難路—住民以外の避難を考慮し設定

誘導標示板—主要避難路への設置

津波緊急待避所—主に津波被害警戒区域内に設定

検討途上では、防コミ主催による町内全域での津波避難訓練をおこない、避難所要時間等設定項目の検証をおこなった。また誘導標示板の設置箇所については、実際に町内をまちあるきして決定していった。

こうして、新「東南海・南海地震津波防災マップ」は、約1年を要して完成し、昨年12月、町内全家庭に配布を完了したところである。今後、私たちの町では津波災害に対しては「津波避難! 2号線より山手に逃げろ!」を合言葉に、町内から一人の犠牲者も出さない、安全で安心な町づくりに努めていきたいと思う。

(魚崎町防災福祉コミュニティ
広報担当 松原 功)